

校長室
だより

おみっ子通信

思い合いの心でみんなが笑顔！

令和8年2月27日
麻績小学校
No. 12



文責：尾台

春を感じながら

「校長先生、明日から春ですよ」…節分の日、2年生のAさんが教えてくれたとおり、翌日からぐっと暖かくなった2月。ぽかぽかした陽気に誘われ、休み時間に外に出て遊ぶ子どもたちも増えてきました。「チューリップの芽が出ていたよ!」と教えてくれる姿もあり、春の訪れを感じる今日この頃です。

2月は、参観日等で学習の成果を披露したり、児童会や金管バンド部も引き継ぎを行ったりしている間に飛ぶように過ぎ、気づけば3学期も残り十日ほど。子どもたち一人一人が1年間の自分の成長を振り返り、4月から力強く新しい一歩を踏み出せるよう、準備を進めています。

令和8年度の麻績小について①

水曜日は、全校5時間授業となります

児童下校時刻 14:50 (バス 14:55発)

※2月27日現在の予定ですので、ともに5~10分程度前後する可能性があります

現在の授業時数を見直したところ、村や学校独自の取組、行事も含めた上で、国の規準に対し、ゆとりのある十分な授業時数を確保できることが分かりましたので、来年度、水曜日を全校5時間授業にすることとしました。

現在より30分程度のゆとりが生まれる水曜日の放課後が、子どもたちにとって、やりたいことにチャレンジするなど有意義な時間となるよう、教育委員会とも連携してまいります。また、職員も、放課後を職員会議、教材研究、研修等にあてることで、子どもたちの学校生活の充実につながるよう工夫してまいります。

2月の麻績小ダイジェスト



<しっかりと洗えているかな> 児童会と連携し、手洗いチェックを行いました。洗い残しが分かる実験では、洗えていない場所を目で確認し「ええっ?!」と、驚いていた子どもたちです。



<ようこそ金管バンド部へ> 金管バンド部にたくさんの3年生が入部しました。入部式では、3年生一人一人がしっかりと抱負を述べていて、「頑張りたい」という気持ちがこちらにも伝わりました。



<待ってるね> 6日、来入見の半日体験がありました。今回は、2、5、1年生と1時間ずつ過ごした年長児の皆さん。休み時間、体育館でのびのびと遊ぶ姿は、ずっと小学校で生活しているかのようにでした。皆さんの入学を待っていますね。



<生命について学ぶ> 2月は「性に関する指導旬間」ということで、助産師の北原光子さんが3～6の各学年に合わせた保健指導を行ってくださいました。子どもたちにとって自分の生命、性について知る、そして考える、貴重な機会となったようです。



<また行きたい！> 4年生は、練習に練習を重ねた朗読劇「ちいちゃんのかげおくり」をデイサービスセンター「みづき」の皆さんに、1年生はできるようになったなわとびの技を、村の「おさんぼカフェ」にいらしている皆さんに披露してきました。どちらもじっくり見てくださった上に、楽しいお茶会にも招待していただき、元気を届けるつもりがすっかり元気をもらって、うれしそうな表情で帰ってきた子どもたちでした。



<1年まよりの参観日> 本年度最後の参観日がありました。6年生は、国語「今、私は、ぼくは」の内容に重ね、一人一人がプレゼンをしながら、これからの自分について語っていました。「人の役に立つことをしたい」「将来〇〇に挑戦したい」…力強く語る姿、凛々しくまぶしかったです。※写真は、5年生の様子



<感謝の気持ちをこめて> 「いつも優しくしてくれた」「助けてくれた」…今年1年麻績小学校をリードしてくれた6年生に感謝の気持ちを込めて贈る卒業式の歌の練習が始まりました。きっと当日は、気持ちのこもった子どもたちの歌声が、体育館いっぱい響くことでしょう。